

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和7年度 第1回福津市観光産業活性化協議会
開催日時		令和7年12月18日（木）午後3時00分～午後4時50分
開催場所		福津市立図書館 2階 研修室2
委員名		（1）出席委員 永松毅文 浄見譲 花田千賀子 紺屋良治 塩川浩一 小島恵 大隈信彦 山口尚志 （2）欠席委員 小役丸秀一
所管課職員職氏名		経済産業部観光振興課 観光振興係長 村上尚寛 観光振興係長 緒方康裕
会 議	議 題 （内 容）	1. 開会 ・委嘱状の交付 ・委員及び事務局の紹介 ・会長の選任について ・会議録の作成方針の決定 2. 議事 （1）福津市観光産業活性化協議会の役割について （2）福津市観光産業活性化協議会委員の委嘱について （3）第2次観光基本計画の中間見直しについて 3. 閉会
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0 名
	資料の名称	資料1 福津市観光産業活性化協議会委員名簿 資料2 福津市観光産業活性化協議会について 資料3 第2次福津市観光基本計画 概要 資料4 観光基本計画に基づく取り組み状況 資料5 目標値ごとの年次推移（実績） 資料6 第2次福津市観光基本計画の中間見直しの結果について（報告） ※令和4年度 資料7 福津市観光産業活性化協議会結果報告書（令和5年度～令和6年度）
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法 会長が指名する委員による確認
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会

- ・委嘱状の交付
代表し永松委員に直接交付、他委員へは机上配布の形で委嘱状を交付。
- ・委員及び事務局の紹介
事務局出席者の紹介、各委員による自己紹介。
- ・会長の選任について
事務局提案について、出席委員の合意を得て会長は永松委員に決定。
- ・会議録の作成方針の決定
事務局 : 福津市附属機関の会議の公開に関する要綱、会議録の作成方法について説明。
決定事項 : 会議の公開。事務局により会議録案を作成し、委員による確認の上で会議録の完成とする。
永松会長 : 出席委員のうち、名簿順に会議録の確認依頼をすることの提案。
決定事項 : 会議録の確認は、花田委員及び紺屋委員とする。

2. 議事

(1) 福津市観光産業活性化協議会の役割について

- (事務局) 「資料2 福津市観光産業活性化協議会の役割」に基づき説明。
- (山口委員) 昨年と比べて第1回目の開催時期が遅いように感じるが、その理由はあるのか。
- (事務局) 今年度は市長交代により予算確定が6月議会となったことと委員改選による委員選定等に時間を要し、今回の開催時期となった。
- (山口委員) 去年は公募委員が2名いたが、今年は1名となっている理由はあるのか。
- (事務局) 事務局としては、今回も2名の公募委員を募集したが、結果的に応募者が1名しかいなかった。
- (山口委員) 公募委員だけ選定の際に小論文を書く負担があるがなぜか。
- (事務局) 附属機関に関する事務を所管している部署が総務課であるため、その理由等についてお答えはできない。
- (大隈委員) 公募委員の追加公募を行ってみてはどうか。
- (事務局) 事務局の方で検討する。

(2) 福津市観光産業活性化協議会委員の委嘱について

- (事務局) 各委員に期待しているもの及び協議会に求めるものについて説明。
- (全委員) (質問、意義無し)

(3) 第2次観光基本計画の中間見直しについて

- (事務局) 「資料3 第2次福津市観光基本計画 概要」、「資料4 観光基本計画に基づく取り組み状況」、「資料5 目標値ごとの

年次推移（実績）」、「資料6 第2次福津市観光基本計画の中間見直しの結果について（報告）」、「資料7 福津市観光産業活性化協議会結果報告書（令和5年度～令和6年度）」に基づき説明。

（永松会長）今年度が中間見直しの年であるため、皆様のご意見を取りまとめて、市の方へ提言していきたい。

（大隈委員）資料には観光入込客数等の目標数値や実績値が載っているが、これらの目標を実現させるには事業費も必要だと思うが、その具体的な金額等には触れられていない。また、パンフレットやマップの充実や駅前等のサインを分かりやすいものにするなどを取り組みとして入れていいのではないか。

（浄見委員）観光入込客数（資料5）でR6.1～12の数字が684万人となっており、前年より40万人ほど増えているが実質的にはどうだったのかなと少し疑問を感じている。イベント等をやっているいろんな方に来ていただいているが、もっと爆発的に来てもらえるような施策をやらなければいけないとDMOとしては考えている。自然増ではなく、イベント等色々取り組むことで増やしていかないといけないと思う。また、宮地嶽神社は福岡県内の神社の中でも毎月のようにイベントを積極的に行っているので、参拝者が多い神社なのだと認識されているので、地域を挙げてイベントを大きくしていくことがより大事だと思う。神社で行う菖蒲まつりの際に植え替える苗が5千～1万鉢ほど余るので、市内に配って皆さんに植えてもらって第2第3の菖蒲園ができるようになるのも一つの方法ではないだろうか。以前、協議会の中で地域を挙げて沿道を賑わせようという話が出ていたが、実際は何もできていないので、例えば神社から古墳方面に行く際の沿線に蓮華やコスモスが咲いているなど色々やってみれば観光客が増えるのではないかと思っているので、とにかく何か実際にやってみようということを申し上げたい。

（塩川委員）私は交通関係者であり、観光協会の会長でもあるが、福津市に人が来てもらうために何をしないといけないか明確になっていないと感じる。宮地嶽神社や光の道などは人が来ている素晴らしいコンテンツだが、福津の最大の魅力はビーチだと思う。関連する民間業者を巻き込んで人を迎え入れる体制を整える必要がある。以前からも話してはいるが、福津には宿泊施設が少ないことが弱点であり、市には宿泊事業者の誘致に取り組んでほしい。

（山口委員）私も福津は海だと思っている。観光として神社へ参拝に行こうという発想には私はならない。リゾート感覚で観光に行こうという感じになる。市は観光で成功した地域に研修に行ってノウハウを吸収した方がいいと思う。

（浄見委員）私はそうではないと思う。福津は近年ずっと人口が増えており、人が住みたいと思っているので、既に観光事業としては成功していると思っている。観光入込客数が直近1年で40万人ほど増えているが、塩川委員もタクシーを利用する観光客が増えていると感じているのではないか。

（塩川委員）以前より増えている。

- (浄見委員) 増えているということは、ある程度基本的には上手くいっている。しかし、これ以上に人を増やしたいので、研修もいいが、そのためには何をするか議論すべきであると思う。
- (塩川委員) 福間から津屋崎までのビーチに人を呼び込むには中間にある光の道に関連させたイベントを行うなど、海と神社の双方向から人を迎え入れる体制を考えたい。
- (浄見委員) 光の道は宮地嶽神社の行事だが、それに派生させて、例えば福津の海岸は夕陽のまちだというようなキャッチフレーズで売り込むなど、宮地嶽神社は集客がある程度上手くいっているのので、その観光客を地元につなげるような施策を皆さんで協議しながら一つ一つ実施していくべきだと思う。とにかく実際に何かやってみよう。
- (大隈委員) とにかくトライアンドエラーだと思う。具体的にやってみて、上手くいけば続ける、上手くいかなければ変えてやってみる。実際に何をやるか、それに尽きると思う。
- (塩川委員) この協議会の中で具体的に何をしていくのか意見を出し合うものなのか、DMO の会議の中で出していくべきものなのか、いつもモヤモヤしている。具体的なことは DMO や観光協会を考えて、この場では市に対して更なる高みを目指して提言するところだと思う。
- (大隈委員) そこは区別せずに、協議会でも DMO でも観光協会でも考えていった方が活性化すると思う。
- (永松会長) 私が思うこの協議会の役割は、市の力を借りないと実現できないことを提言としてまとめて、市の方へ答申をすることだと思う。塩川委員も話されたように、出た意見の中で民間事業者も含めた関係団体で実行できることもあると思うので、市に動いてもらうべきもの、ハード面などはそうだが、イベントなどソフト面などは協議会のメンバーでできることもあるだろう。夕陽という意見はとても良いと思う。そういった意見を取りまとめていけばいいと思う。福津市は全国的にも限られている人口が増加しているまちであり、定住人口も交流人口も増え、上手くいっている方だと推測される。それをより活発に快適に来て、市内を回遊してもらえようようにどんなことをすればいいか意見を出してもらいながら、自分たちでできることはやっという方向に進んで行けばいいのではないかなと思う。
- (紺屋委員) 福津の持ち味として、現状は宮地嶽神社がまず挙げられると思うが、次に海をどう考えていくかということだと思う。各観光地を巡る交通手段や宿泊施設の少なさから福津への滞在時間が短くなっていることやアクセスの分かりづらさなどが改善されれば、観光消費額が増えると思う。駅のロータリーを使って新たなイベントをする等、例として他の地域でやっていることだが、焼酎フェアとして酒蔵にきてもらって千円で 3 杯飲めるチケットを販売したり、周遊バスを出して各地で乗り降りできるチケットを販売する等やり方はあるが、予算が必要になるので、大隈委員が言われたように、まずはできるものからチャレンジして、ダメなものは止めて、良ければ続けていくなど、小規模なものから取り組んでいけばいいのではないかな。正解はな

- いと思うので、まずはやってみることが必要だと思う。人が1つの会場に集まるようなイベントがあっても良いとも思う。
- (花田委員) 神社参道の観光案内所に半年ほどいたことがあるが、まず一番は交通の便が挙げられる。バスが1時間に1本しかなく、あとはタクシーしかない。資料にも回遊性を高めると書いているが、津屋崎方面に行く術があまりないので、不便だという声はよく聞いている。宮地嶽神社の風凜まつりや観光協会等がやっている福津バルなど、人はたくさん来ているが宿泊施設がないことが大きな課題となっている。市は企業誘致をしようとしているが、福津市では来てもらうための支援策として補助金や税の優遇などが不足しているのではないかと思っている。支援策の充実がないと企業は来たくても来られないのではないかと感じている。
- (小島委員) 私が福津に来たのが1年半ぐらい前で、福津市といえば宮地嶽神社しか知らなかった。観光の仕事をしてもらうようになってこの数か月だが、観光客目線でいろいろと感じているところがある。私は、観光に行くなら車を使うという感覚があるので、車で観光に訪れた方に何かメリットがあるような特典があってもいいのかなと思う。何かやりたいなど考えても予算や市の許可等が必要だったりして、実際にやる前に止まってしまうことが多いと感じている。それぞれ各地でイベントを行っているようだが、それをもっと連動させた方がもっと人がいるなと訪れる仕掛けができるのではないだろうか。
- (永松会長) 事務局の方へ伺いたいのだが、今年は中間見直しの年だということで目標数値をそのままにするのか変更するのか決めていくことになると思うが、実際に今日出たような案内サインを充実させるべき等を入れようとした場合、具体策のところを変更するのか、それともそれはそのまま別協議会としていつ何をするのかといったことをまとめていく方がいいのか。
- (事務局) 協議会で出たご意見については、最終的に報告書という形で提言してもらいたいと考えており、目標値については基本的には変更は行わず、具体的な取り組みについてのご提言をいただければと思っている。
- (紺屋委員) 計画にある基本施策について、どの項目がクリアできているのかできていないのか、その進捗状況を明確にして、その上でクリアするために何をすべきか見ていく必要があると思う。
- (永松会長) それぞれの進捗状況について、事務局の方で把握できているものはあるのか。
- (事務局) 事務局として数値で把握しているものは資料5に記載しているものになるが、資料4に記載している各年度の取り組みによって各施策を達成できているかどうかについては精査できていない。各取り組みが複合的に相乗的な効果を生んで、資料5の数値に表れているものと考えている。
- (紺屋委員) 令和7年度で何%クリアしているのか、数値で見えれば皆さんにも伝わりやすいのかなと感じた。
- (塩川委員) 各施策についてだが、どれもそれぞれの関係機関が取り組んで実現して行っていると思うが、具体的にどこが何をやっている

- か情報の集約ができていないと思うので、事務局で取りまとめて報告してもらえればいいと思う。
- (永松会長) 本日の意見を整理すると、海の事、宮地嶽神社の事、回遊の事等色々出たが、各基本施策の進捗状況について、次回開催までに一旦整理をお願いしたい。その上で計画について見直すかどうかについて意見を取りまとめていきたいと思う。観光情報の発信については DMO が作成している福津ウェブで発信しており、市や観光協会、いざいのページにいけるようになっているが、市のホームページからは福津ウェブにいけなくなっている。早めに対応してほしい。宿泊施設の誘致については市の力を借りないといけないと思うが、滞在時間を延長させる方法として、松江市が行っている夕陽を活用した取り組みがある。ホームページに夕陽の日の入り時間などのカレンダーを掲載して、夕陽の撮影スポットを紹介している。また、日の入り時間に合わせて県立美術館の閉館時間を変えるなど、夕陽を最大限楽しめるように、併設しているカフェやレストランも利用できるような工夫をしているので、ひとつ取り組みのヒントになると思う。
- (浄見委員) 誰がやるか、どのように広報するのかということが大事であり、難しいと思う。ポスターだけでいいのか、ホームページを作るのか、映画にするのかなど。市か DMO がやるべきではないかと思う。
- (永松会長) 一般の方が何を見て福津を知るかということ、ホームページなどスマホから情報を得ることが多いので、夕陽情報を載せるのであれば福津ウェブを活用して魅力的に情報を掲載していくことが一番の早道だと思う。
- (塩川委員) DMO が提案して観光協会に何か取り組んでほしいと言ってもらえると、今まで協会に入っていなかった方にも声掛けしやすく、動きやすくなる。
- (浄見委員) DMO が旗振り役をするか考えてみる。
- (永松会長) 本日の議題は以上となるが、その他として何かあれば発言をお願いしたい。
- (浄見委員) 山口委員が言われたように、いろんな方の意見を聞きたいし、力をお借りしたい。DMO として旗振り役として動きたいと思うが、いろんな方の力が必要だ。
- (永松会長) 事務局の方には、可能であれば年度内とか途中からでも構わないので、枠が残っている 1 名の公募委員の募集を検討していただきたい。
- (事務局) 本日いただいたご意見等については、次回以降検討させていただきたい。

7. 閉会